

海辺の教室ができるまで

(株)総合水研究所

NPO法人 人と自然とまちづくりと

任意団体 海辺の教室

平井 研

自己紹介

- 平井 研（ヒライ ケン）
- 大阪府東大阪市生まれ
- 和歌山市在住
- 近畿大学農学部水産学科 卒業
- 大阪市立大学大学院工学研究科 修了
- 海洋環境コンサルタント
- 現在、(株)総合水研究所
- 10年前から子どもや保護者を対象に海の環境学習を実施



本日お話をさせていただく内容

◆なぜ、環境学習・環境教育をやっているの？

◆どんな学習会をしているの？

◆授業の内容は？

◆なぜ、環境学習・環境教育をやっているの？

理由のひとつは「人と海との距離が遠くなっているから」

→「海水浴」はレジャー白書の余暇活動上位20位において1999年度の18位を最後にその姿を消している

→臨海学校もついても減少傾向（矢野・三村、2005）

・海洋基本法 第28条（2007年）

国は、国民が海洋についての理解と関心を深めることができるよう、学校教育及び社会教育における海洋に関する教育の推進・・・

→知っている先生に会ったことがありません・・・

◆ 人と海との距離が遠くなると・・・

子どもの頃、海で遊んだことがない



大人になり、子どもができて海へ行かない



その子どもも海へ行かない
+遊び方が分からない



海への無関心化



プールなんか行かないから
海で泳い

海は危ないから
プールで泳ぎなさい

「海辺の教室」ができるまで

◆環境学習との出会い

2005年、愛知県蒲郡市にて開催された三河湾環境チャレンジにスタッフとして参加。その学習会がとても衝撃的でした。

- ・海 × 子ども
- ・普段目立たない子がその日はヒーローに！
- ・海に興味を持ってくれる子が増えるのでは・・・



「海辺の教室」ができるまで

◆雇われ講師として環境学習会へ参加



<資格>

- ・和歌山県環境学習アドバイザー
- ・(財)日本自然保護協会 指導員
- ・自然体験活動 (CONE)
- ・(社)日本ネイチャーゲーム協会
- ・プロジェクトWET
- ・プロジェクトWILD
- ・MARE
- ・GEMS
- ・日本加一連盟 JRCA ジニア指導資格
- ・防災士

「海辺の教室」ができるまで

◆自分で環境学習会を開催したい思いが・・・
2012年8月26日、「海塾」という企画を自主開催。
その結果・・・参加者は5人（うち2人は身内）



小天狗の鼻は見事に折れました

**大きな海の小さな生き物
“フランクトン” 大研究会!!**

海の中には不思議がいっぱい!
そんな不思議の1つ、フランクトンについて
しらべてみませんか?
普段見ることのできない未知なる海へ、
冒険の旅に出よう!!

詳細はウラ面へ

「海辺の教室」ができるまで

◆それでも挫けず！

2013年度、2つの大きな事業に申請、その後採択。

○地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業 【環境省】

○わかやまの底力・市民提案実施事業 【和歌山市】

→申請に際し、「海辺の教室」を設立

地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業【環境省】

＜ESDの実施＞※ESD(Education for Sustainable Development、持続可能な開発のための教育)
人と海とのつながりを取り戻し、環境を再生することを目的に、尼崎・西宮両市の中高生を対象にESDを実施した。



豊かな運河を未来へ!

尼崎運河

運河の水質浄化に水生生物を組み合わせて使った世界初の試み!



水質浄化施設での藻類の刈り取り作業



人工干潟での水中生物観察



尼崎運河博覧会(うんばく)の様子



◀ 生き物のイラスト：尼崎市立成良中学校ネイチャークラブ

施設や活動についてお気軽にお問い合わせください。

尼崎港管理事務所 Tel. 06-6412-1361・Fax. 06-6413-1090

尼崎運河へ行こう

検索

この看板は、“NPO法人 人と自然とまちづくり”が実施した『地域活性化を担う 環境保全活動の協働取組推進事業(環境省)』における活動成果の1つです。

持続可能な開発のための教育とは

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより **(think globally, act locally)**、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、**ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育**です。



【環境省】



【文部科学省】

わかやまの底力・市民提案実施事業 【和歌山市】

海に遊び、海に学ぶ、海辺の教室プロジェクト

<第1回>海の生き物さがし&ふしぎ実験

日時：8月18日（日）9時～12時

場所：和歌 満干潟

内容：海にいるカニや貝をゲット！

おもしろ科学実験もやります！！

参加費：500円（保険代、資材費等込み）



<第2回>うみキャンプ（子どものみの参加）

日時：8月25（日）10時～26日（月）9時

場所：和歌山市立 少年自然の家

内容：海のお宝さがし、海の工作、カレーづくりなど

参加費：5,500円（工作、カレー、保険代等込み）



<第3回>漁港バックヤード見学ツアー

日時：9月16日（月・祝）8時～11時

場所：和歌満漁港

内容：和歌満名物シラスの水揚げから、加工してお店にならぶまでのウラがわを見学します！

参加費：1,000円（とれたてシラス丼つき）



<第4回>おさかなクッキング

日時：10月12日（土）10時～14時

場所：中央コミュニティセンター

内容：おいしいさかな料理を作しましょう。

楽しくクッキング、おいしくて食キング！

参加費：1,500円（材料費、保険代込み）



<第5回>津波が来たらどうする！？

日時：11月10日（日）14時～17時

場所：和歌山市消防局 防災学習センター

内容：いつ来るかわからない津波。

津波のことを学んで、きたるべき津波にぞなえましょう。

参加費：無料



<第6回>おもしろ科学まつり 出展！

日時：12月14（土）-15（日）9時～17時

場所：和歌山大学

内容：これまでの活動内容を展示し、実験も実演。

参加費：無料



【生物・環境】

海の生き物さがし & ふしぎ実験 in 和歌浦干潟





【レクリエーション】

うみキャンプ

in 和歌山市立少年自然の家





【漁業・食糧】

漁港バックヤード見学ツアー in 和歌浦漁協





【食育】 おさかなクッキング in 中央コミュニティーセンター





【防災・津波】 津波が来たらどうする？ in 和歌山市消防局防災学習センター





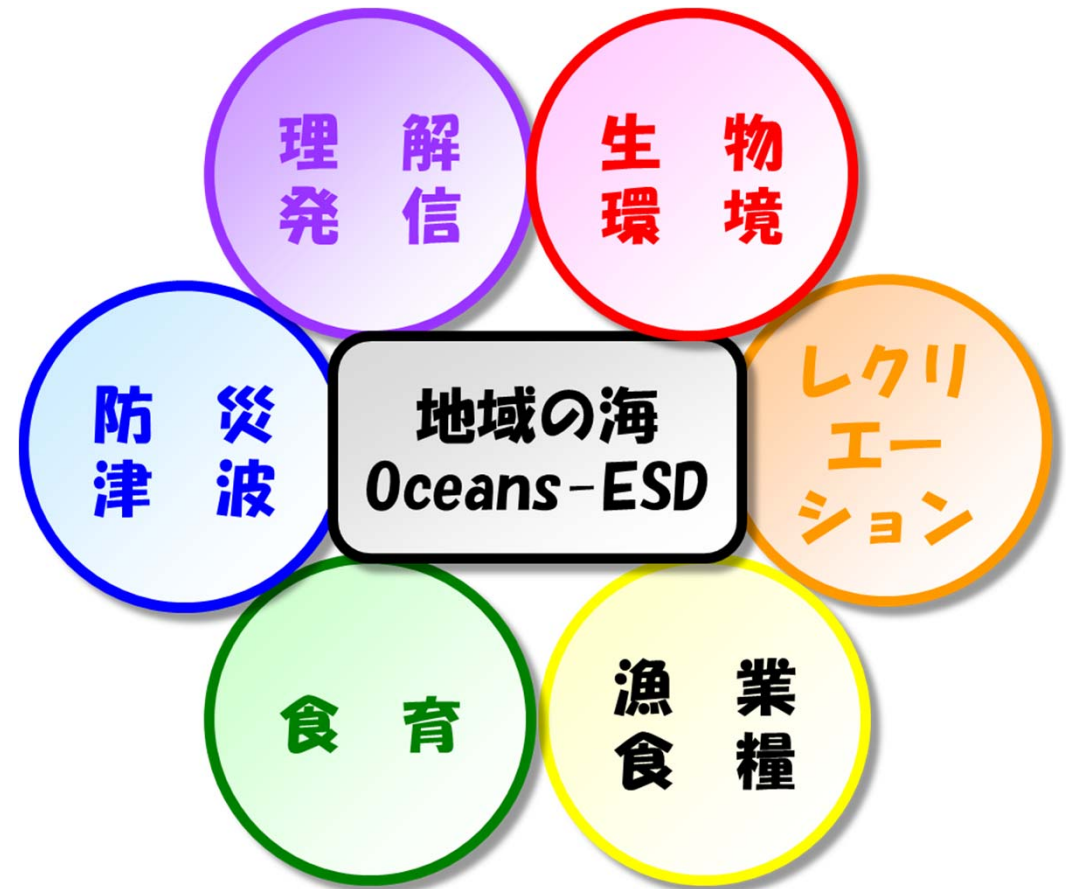
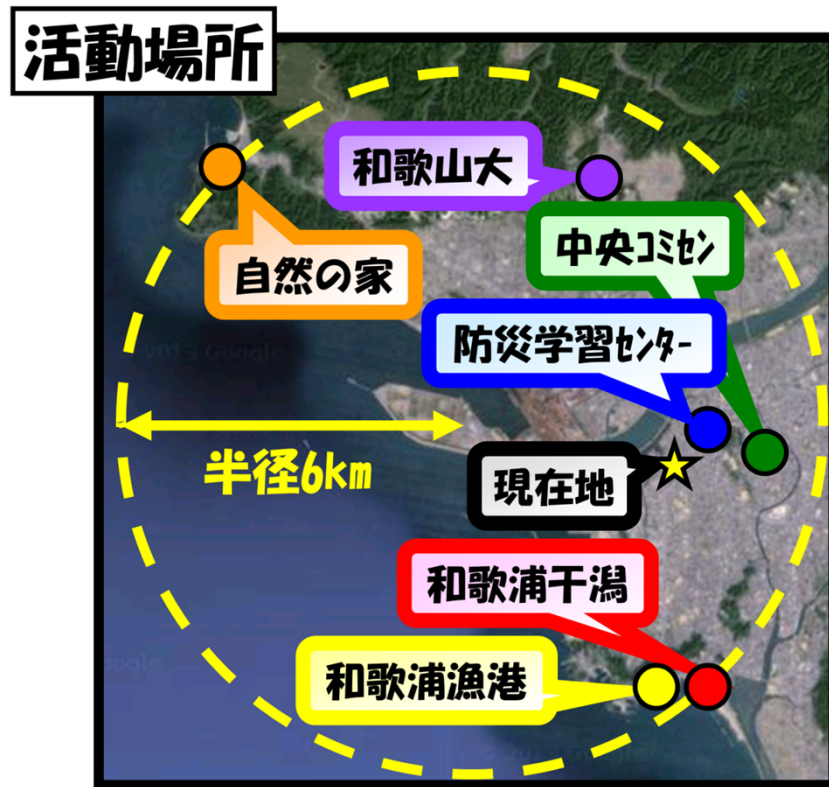
【理解・発信】 おもしろ科学まつり in 和歌山大学



地域の海を活用



海からの恵み（生態系サービス）を多面的に体験



和歌浦小学校「あさり姫プロジェクト」

<和歌の浦干潟が抱える問題>

干潟に興味がない

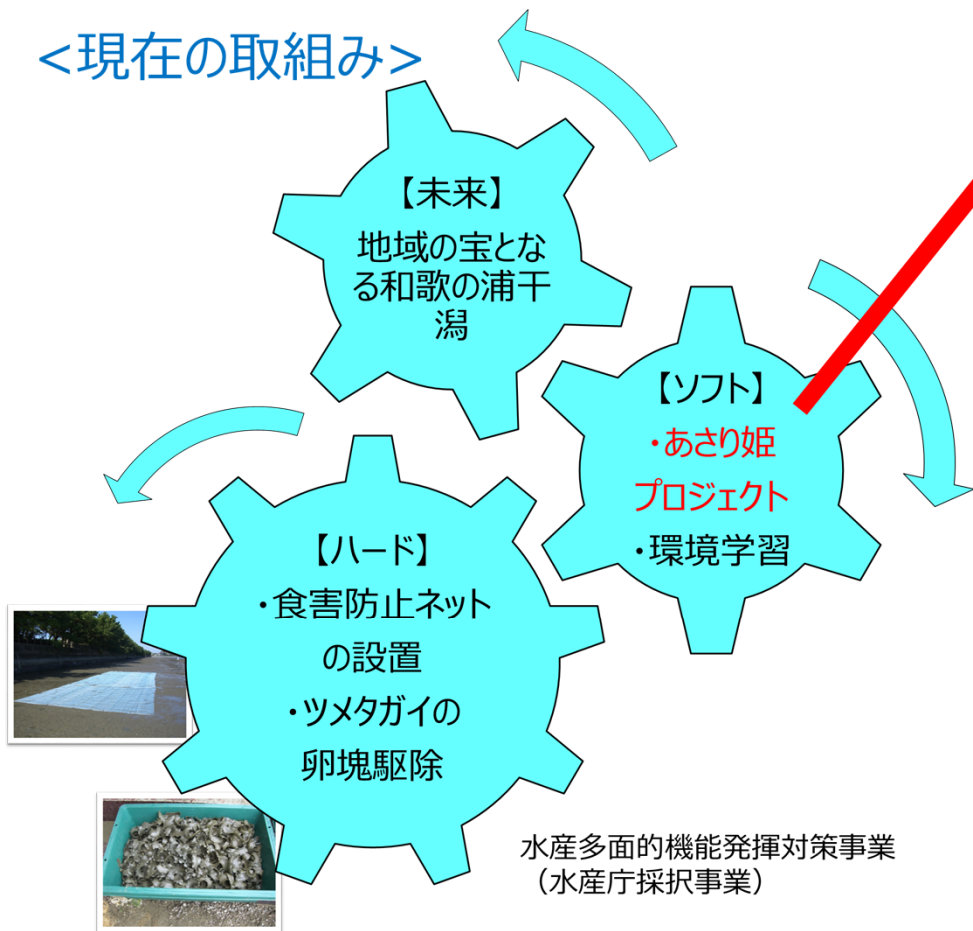
- 干潟がどんな場所か知らない、楽しみ方がわからない
- 汚れる、危ない⇒行きたくない

潮干狩りができない

- アサリの生息数が減少⇒生物生産機能の低下
- 観光業にも影響⇒経済損失

和歌浦小学校「あさり姫プロジェクト」

<現在の取組み>



あさり姫プロジェクトとは？

和歌浦干潟では平成21年度からアサリ資源減少に伴い、潮干狩りが実施されていません。原因は様々に考えられますが、ひとつにナルトビエイやツメタガイによる捕食が挙げられます。あさり姫プロジェクトは、アサリを竹筒に入れ、外敵からアサリを守り、そして育てるプロジェクトです。その様子が竹取物語に出てくるかぐや姫に似ていることから、アサリを入れる竹筒を「なよ竹部屋」、竹の中で育つアサリを「あさり姫」とネーミングされました。



和歌浦小学校「あさり姫プロジェクト」

<和歌浦小学校3年生との協働>

1回目：7月14日
室内授業&干潟での生き物観察



干潟での生き物観察



漁師さん達と集合写真

2回目：10月2日
室内授業 ～干潟について～



干潟に関する授業



水の汚れに関する実験

3回目：12月4日
あさり姫プロジェクト スタート！



竹筒の加工作業



なよ竹部屋 完成！

活動の様子を取り上げてもらいました！



【産経新聞】



【ニュース和歌山】

和歌浦小学校「あさり姫プロジェクト」

アンケート調査

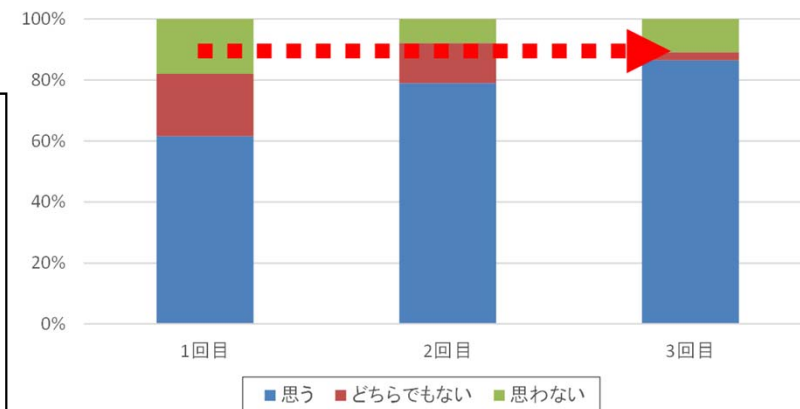
<アンケート>

今日の感想を教えてください

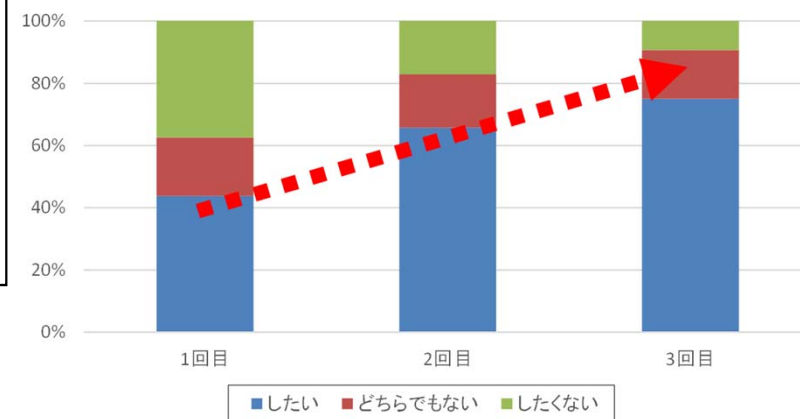
・楽しかった？	とても	5	4	3	2	1	まったく
・勉強になった？	とても	5	4	3	2	1	まったく
・自然や生き物が好きになった？	とても	5	4	3	2	1	まったく
・干潟(ひがた)が好きになった？	とても	5	4	3	2	1	まったく
・これから干潟(ひがた)を大切にしようと思った？	とても	5	4	3	2	1	まったく
・また干潟(ひがた)に行きたい？	とても	5	4	3	2	1	まったく
・海をきれいにしたいですか？	とても	5	4	3	2	1	まったく
・海をきれいにする活動があれば参加したいですか？	とても	5	4	3	2	1	まったく

n=38

これから干潟を大切にしようと思った？



海をきれいにする活動があれば参加したいですか？



「海辺の教室」ができるまで

- ◆5人からはじまった海辺の教室ですが、
多くの人にご参加いただき、この4年間で延べ470名の方にご参加いただきました。
- ◆まだまだ、活動規模は小さいですが、その輪は徐々に広がり、
地域を巻き込もうとしています。
海へ興味を持つ人たちが増えるよう、これからも活動を継続していきます。

本日お話をさせていただく内容

◆なぜ、環境学習・環境教育をやっているの？

◆どんな学習会をしているの？

◆授業の内容は？

ミッション名

「ちいも積もれば」



プロジェクトWETのプログラムには、米国内で300人以上の資源管理者・科学者等により開発され、600人以上の教師と34,000人の生徒たちによってテストされた、「水」に関するたくさんのアクティビティが盛り込まれています。

1日の授業の流れ

◆座 学



◆フィールド



◆まとめ・ふりかえり

<ポイント>

アイスブレイク（先手必勝）

<ポイント>

安全管理（子どもはウソをつく）

<ポイント>

ふりかえり（記憶の定着）

【大切にしていること】

海の環境問題を知ってもらう活動をメインにするのではなく、海の魅力を**楽しんで**もらえる活動をメインに実施しています。



【大切にしていること】

世の中を変えたい、海への無関心を変えたい



海に興味のある人（少数派）

海に興味のない人（多数派）



興味のない人は、環境問題のようなマイナスイメージをテーマにした学習会に参加しない

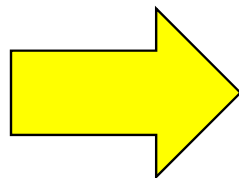


だったら、興味のない人が興味を持ちそうな楽しいイベントにすればいい

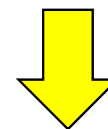
+ 少しでも、海の環境について話をする

【今後について】

海の問題環境問題



地域の方々と一緒に
楽しみながら
地域の海の課題解決
を進めていきたい



- ・コミュニティの再生
→ 本当の豊かさ
- ・21世紀型の海洋文化
の模索